

第40回神奈川県メディカルコントロール協議会次第

日 時：令和5年3月20日(月)19時00分から
開催方法：WEB形式

1 開 会

2 浅利会長あいさつ

3 議 題

(1) 審議事項

県北・県央地区MC協議会が実施する令和5年度薬剤投与追加講習の講習計画について

(2) 報告事項

ア 医療機関に所属する救急救命士の認定に係る対応について

イ 県内における指導救命士の認定状況について

ウ 各地区メディカルコントロール協議会の取組み状況について

4 その他

第40回神奈川県メディカルコントロール協議会（令和5年3月20日）出席者名簿

委員区分	所属	役職	氏名	備考
会長	県北・県央地区 MC 協議会会長 北里大学病院	救命救急・災害医療 センター長	浅利 靖	出席
副会長	(公社) 神奈川県医師会	副会長	恵比須 享	出席
副会長	川崎市消防局	警防部長	熊谷 淳史	出席
委員	(公社) 神奈川県医師会	理事	田村 哲郎	出席
委員	(公社) 神奈川県病院協会	副会長	菅 泰博	出席
委員	横浜市 MC 協議会会長 横浜市立大学附属市民総合医療センター	高度救命救急 センター長	竹内 一郎	出席
委員	川崎市 MC 協議会会長 川崎市立川崎病院	救命救急センター 所長	田熊 清継	出席
委員	三浦半島地区 MC 協議会 三浦市立病院	総病院長	小澤 幸弘	出席
委員	湘南地区 MC 協議会副会長 東海大学医学部	救命救急医学 領域主任教授	中川 儀英	出席
委員	神奈川県 MC 協議会特定行為資格認定部会長 昭和大学藤が丘病院	救命救急センター長	林 宗貴	出席
委員	川崎市 MC 協議会副会長 聖マリアンナ医科大学病院	副院長兼救命救急 センター長	藤谷 茂樹	出席
委員	新百合ヶ丘総合病院 聖マリアンナ医科大学	脳卒中センター長 特任教授	長谷川 泰弘	出席
委員	東海大学医学部内科学系循環器内科学	領域主任教授診療科長	伊莉 裕二	欠席
委員	小田原市立病院	救急科 部長	飯塚 進一	欠席
委員	帝京大学医学部附属溝口病院	麻酔科教授	丸山 晃一	欠席
委員	聖マリアンナ医科大学	麻酔学教授	井上 莊一郎	欠席
検討部会長	海老名総合病院	メディカルコントロール室室長	名取 穰治	出席
委員	横浜市消防局	救急部長	古屋 明弘	出席
委員	横須賀市消防局	消防局長	野田 佳孝	欠席
委員	藤沢市消防局	消防局長	衛守 玄一郎	出席
委員	相模原市消防局	警防部救急課長	野口 深雪	代理出席
委員	神奈川県健康医療局	保健医療部長	高山 啓	欠席
委員	神奈川県くらし安全防災局	防災部長	田邊 親司	出席

地区MC協議会事務局・県MC協議会事務局

所属	役職	氏名
横浜市消防局 救急部救急課	救急指導係長	吉元 景
	救急指高度化主任	今村 佳佑
川崎市消防局 警防部救急課	メディカルコントロール推進担当係長	佐々木 友三郎
横須賀市消防局 救急課	救急課長	岸 信明
藤沢市消防局 救急救命課	主幹	山下 克至
	課長補佐	鈴木 真也
相模原市消防局 警防部救急課	主査	河上 仁厚
神奈川県くらし安全防災局防災部消防保安課	課長	長澤 義朗
	副課長	塚本 綾子
	消防グループリーダー	片山 大祐
	消防グループ 主査	友光 孝志
神奈川県健康医療局保健医療部医療課	課長	市川 良成
	副課長	小野里 知彦
	医療整備グループリーダー	大日向 章弘
	医療整備グループ 主事	丸山 大侑

第40回神奈川県メディカルコントロール協議会結果

- 1 日時 令和4年3月20日（月）19時から20時30分まで（WEB形式）
- 2 出席者 委員16名
欠席6名（詳細については、別添出席者名簿のとおり）
- 3 開会 事務局が、本協議会設置要綱に規定する「部会員の過半数の出席」を満たしており、会議が有効に成立することについて報告した。

4 議題

(1) 審議事項

県北・県央地区メディカルコントロール協議会が実施する令和5年度薬剤投与追加講習の講習計画の承認について

【審議結果】

- ・本議題は賛成多数により議決され、上記追加講習の講習計画については承認された。

【主な意見】

- ・今回の講習では何人くらいの方が今後、薬剤投与の認定の申請をすることになるのか。（林委員）
⇒5名から10名程度となる。（県北・県央地区MC事務局）
- ・今後も各地域で講習を行う際には、県MC協議会に諮ることが必要か。（中川委員）
⇒現在の取り決めでは県MC協議会に諮ることが必要となります。（事務局）
- ・この追加講習で記録した映像を他の地域に提供することは可能か。（浅利会長）
⇒講師となる先生方のご理解が得られれば提供は可能と考える。（県北・県央地区MC事務局）
- ・今後、救急隊員の生涯教育のために各地域が必要があれば、県北・県央地区MC協議会事務局にご相談いただき、対応できる仕組みも検討してきたいと思うので、必要に応じて県北・県央地区MC協議会事務局の対応をお願いしたい。（浅利会長）

(2) 報告事項（事務局から報告）

ア 医療機関に所属する救急救命士の認定に係る対応について

- ・検討部会の名取部会長より検討結果の報告がされた。
- ・県健康医療局保健医療部医療課長より現在の検討状況について報告された。
- ・東京都MC協議会の動向について報告された。

【主な意見】

- ・東京都MC協議会で方針が出されたことをうけて、神奈川県でもある程度期日を決めて、動かなければならないと考える。また今後各医療施設でも色々な形で始まってしまうと思うため、県主導でやっていただきたい。（名取部会長）
- ・地区MC協議会は関与せずに県MC協議会がまとめて対応するという整理で間違いないか。（浅利会長）
⇒現状はそのような形で話を整理し進めている。（事務局）
- ・病院救命士の処置拡大についての重要性は重々承知のうえで、人数を比較すると消防救命士の数の方が圧倒的に多いため、こちらをメインにしていくのは致し方ない面もあるのかと感じた。（竹内委員）
- ・病院救命士より消防救命士の方が多いため、現場の救急隊の養成をして、消防の方の資格講

習ができないとなると本末転倒となる。(浅利会長)

・医療機関に所属する救命士に関しては、何か責任問題が生じた場合は病院の範疇で対応するという整理でよいか。(浅利会長)

⇒基本的に国のガイドラインに基づき、院内に委員会を設置し、その中で救急救命士の仕事を定めるという整理になっているため、何か支障が生じてしまった場合は、基本的に院内の責任で対応いただくこととなる。(医療課)

・病院救命士と今後増えていく専門看護師との住み分けも、病院内の委員会等できめていただければいいなと感じる。またMC協議会が病院救命士をコントロールするという事はないと思われる。(林委員)

・本日は現状をご理解いただいて、医療課が主導となって動いていただくこととなりましたので、東京都の動きの見ながら早めに動いていくということで進めてまいりたい。(浅利会長)

イ 県内における指導救命士の認定状況について

令和4年度は18名の新たな指導救命士を認定し、令和5年3月10日時点で、合計144名の指導救命士を本県MC協議会で認定した。

ウ 地区メディカルコントロール協議会の取り組み状況について

【主な意見】

・川崎市MC協議会のDNARの対応はある程度統一が図られているということか。(浅利会長)
⇒川崎市MC協議会で案を作り、川崎市の病院協会と調整をおこなっており、今後コロナも終息してきたので、これから議論が進んでいくことを期待している。(田熊委員)

・国が2年間検討してきた結論を出なかったもので、今後も指針をだすことはないと思われるが、各地域でご検討のうえ良いガイドラインができればと思う。(浅利会長)

5 その他

新百合ヶ丘総合病院の長谷川委員より「神奈川県における脳卒中受療システムの最適化及び循環器疾病対策推進計画におけるロジックモデル」についての説明があった。

【主な意見】

・今後各地域で脳卒中受療システムの最適化の議論が進むものと存じますが、各MCにおかれましては各地域のコア施設、PSCなど認定施設を含めた議論をしていただきたい。また県MC協議会においてもその調整やファシリテートにご尽力いただきたい。(長谷川委員)

・今後は消防庁オンライン統計システムの救急搬送データを利用させていただき、まずはそこから始めていきたいと考える。(長谷川委員)

・県MC協議会としては、今後、現場の救急搬送データが非常に大切になってくると、今後脳卒中受療システムの最適化等に向けた取り組みが重要だと考えていることを、各地区MC協議会にも周知し、全体的に盛り上げていければと考える。(浅利会長)

6 閉会

以上